

令和元年 10 月 23 日
九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

国道 10 号住吉道路の道路計画を進めるにあたり 地域の皆様のご意見をお聞かせください

「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価※の手続きを進めております「国道 10 号住吉道路」に関し、最適なルート帯の検討に必要な重視すべき事項について皆様のご意見をお聞かせ下さい。

※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対策案の比較評価を行うものです。

アンケート調査について

○実施期間：令和元年 10 月 24 日（木）から 12 月 1 日（日）

○調査対象等：以下のとおり

アンケート調査対象者	実施方法
周辺住民の方	・ 郵送により配布（WEBでの回答も可能） 【配布地域】宮崎市 ※無作為抽出
その他の地域にお住まいの道路利用者	・ 道の駅にて配布（WEBでの回答も可能） 【配布場所】 「高岡」「田野」「フェニックス」「つの」

ヒアリング調査について

○実施期間：令和元年 10 月 28 日（月）から 11 月 15 日（金）

○調査対象等：宮崎県、宮崎市、西都市、新富町の沿線自治体及び国道 10 号の利用が考えられる宮崎市等の団体、企業等

○実施方法：対面方式

オープンハウスについて

○実施期間：令和元年 11 月 20 日（水）から 11 月 24 日（日）
（平日）9 時から 16 時、（休日）10 時から 16 時

○実施箇所：以下のとおり

○備考：台風等、荒天が予想される場合は延期とし、オープンハウス前日の 17 時までに宮崎河川国道事務所のホームページでお知らせします。

実施箇所	実施日
宮崎市役所 本庁舎横（西側）	・ 令和元年 11 月 20 日（水）
宮崎市立佐土原図書館	・ 令和元年 11 月 21 日（木）、24 日（日）
マルミヤストア住吉店	・ 令和元年 11 月 22 日（金）、23 日（土）

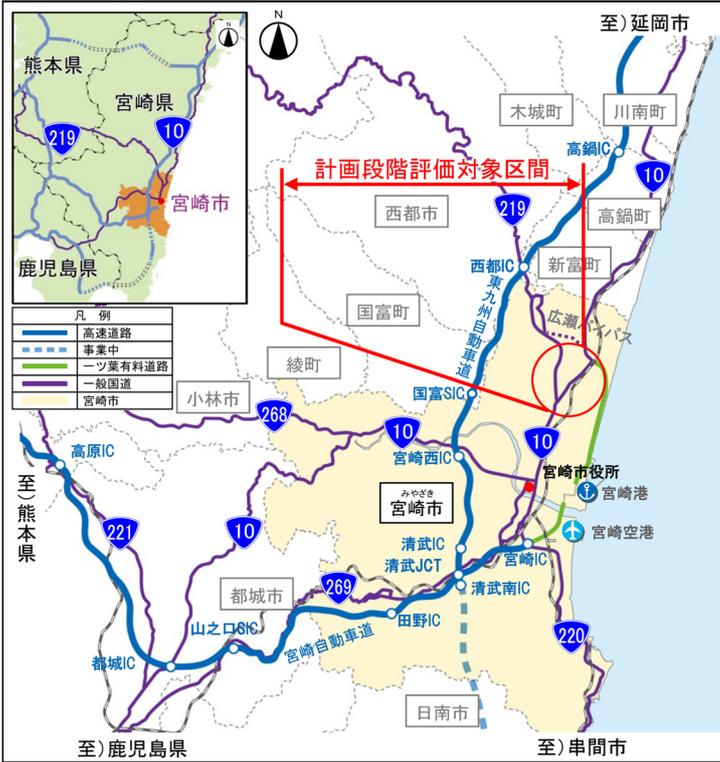
問い合わせ先：国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

技術副所長 いがり めいと 猪狩 名人
調査第二課長 こはら まさと 古原 正人

TEL:0985-24-8221(代表) URL:<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

国道10号対象地域位置図(住吉・佐土原地区)

【広域図】

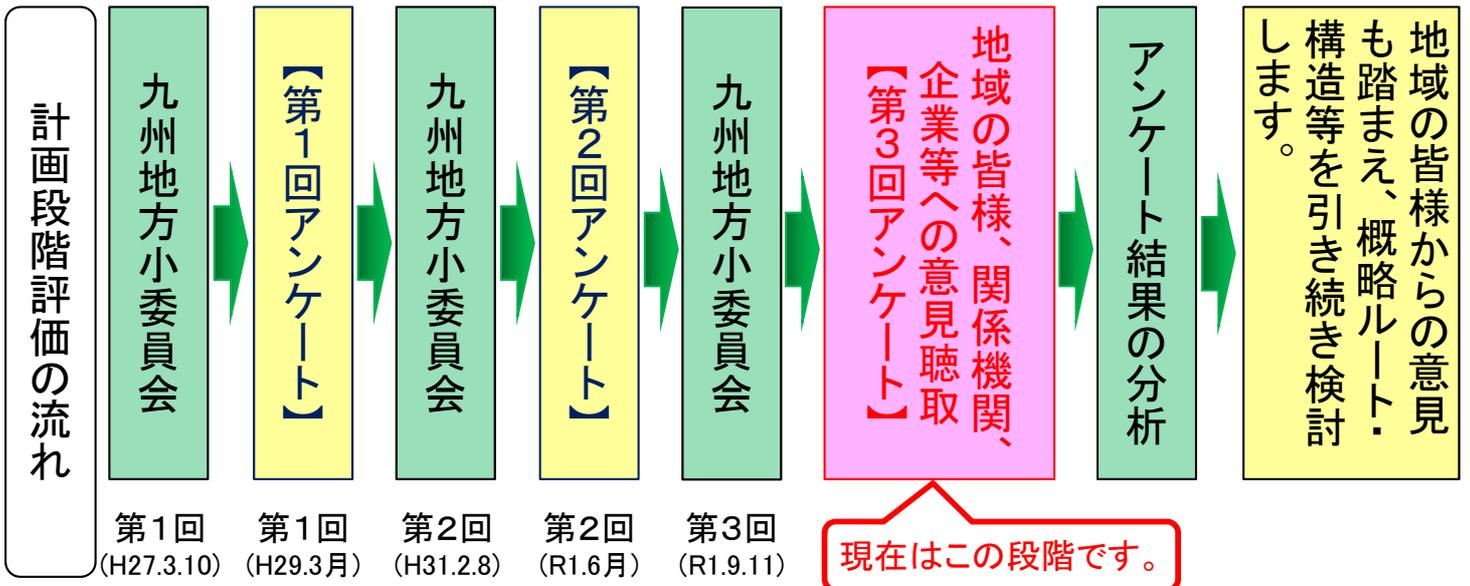


【路線位置図】



■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価を導入しています。これは、道路の整備方針について地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体等)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

国道10号住吉道路の道路計画に関する 第3回アンケートにご協力をお願いいたします

国道10号は福岡県北九州市を起点として宮崎市から鹿児島県鹿児島市に至る延長464 kmの道路です。

今回は、国道10号住吉道路に関し、最適なルート帯の検討に必要な重視すべき事項について皆様のご意見をお聞きするものです。

本アンケートへのご協力をお願いいたします。

■ アンケート対象者

- 本アンケートは、宮崎市にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。
- 本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方を対象に**幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい**と考えております。お手数ですが、アンケートの主旨をご理解の上、回答して頂きますようお願いいたします。
- ご家族の皆様のご意見をお伺いしたい為、「アンケート回答用 返信はがき」を4枚同封させて頂いております。
(対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。)
※なお、不足する場合には1ページの問い合わせ先にご連絡ください。

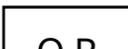
■ 回答の提出方法及び締切

○回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、
令和元年12月1日(日)までに、
切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。

【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、
下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、
令和元年12月1日(日)までに、回答をお願いいたします。

A 右記URLをアドレスバーに入力

B QRコードからアクセス QRコードはこちら 

アンケートの目的

このアンケートは、国道10号住吉道路の3つの『ルート帯案』※1のうち、最適なルート帯の検討に必要な「重視すべき事項」※2について皆様のご意見をお聞きするものです。

お聞きした「重視すべき事項」は、各ルート帯における政策目標等の達成状況と合わせて最適なルート帯等を検討する際の参考とします。

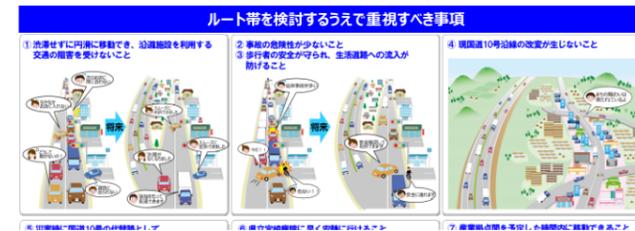
なお、最終的なルート帯は、九州地方小委員会の意見を踏まえ決定します。
頂いた回答はアンケート以外の目的で使用することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

- ※1：『ルート帯案』とは、路線を計画する概ねの幅を示す案。
なお、6ページに示す3つのルート帯案は今年の9月に開催された九州地方小委員会において承認されたもの。
- ※2：「重視すべき事項」とは、最適なルート帯を決定するための評価項目。

■ 送付資料について

返信はがきに記載されている「重視すべき事項」の①～⑭までの番号は、4、5ページの『ルート帯を検討するうえで重視すべき事項』や7ページの『ルート帯案の比較表』の番号と同じ項目を示しています。

● ルート帯を検討するうえで重視すべき事項 (4、5ページ)



● ルート帯案の比較表 (7ページ)

項目	案1 (R10沿線)	案2 (R10沿線)	案3 (R10沿線)
沿道施設	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。
沿道施設	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。
沿道施設	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。	沿道施設を整備し、歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げる。



● 返信はがき

図4-1 対策案を検討する際に、下記の重視すべき事項について5段階で評価してください。
【①～⑭のそれぞれ該当する箇所には○をつけてください】

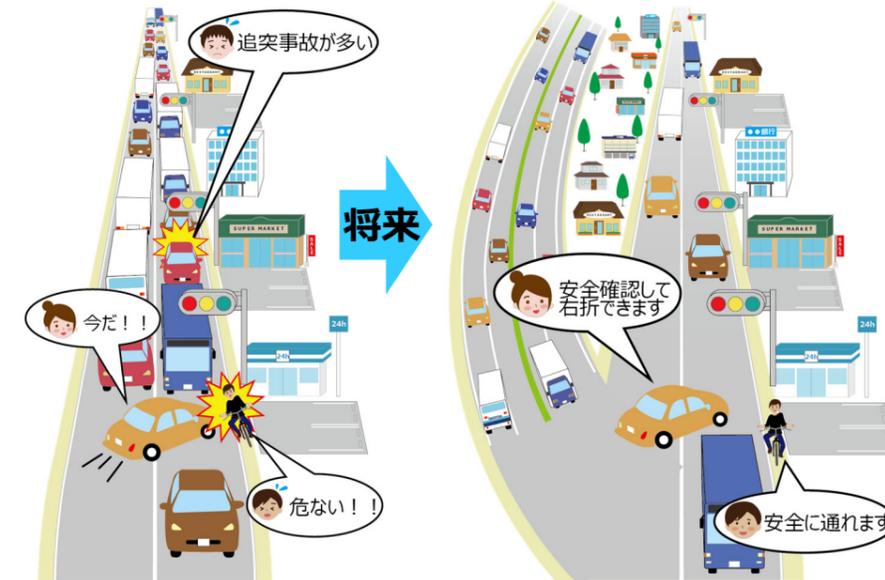
番号	重視すべき事項	物に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視すべきでない
①	渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと	5	4	3	2	1
②	事故の危険性が少ないこと	5	4	3	2	1
③	歩行者の安全が守られ、生活道路への侵入が防げること	5	4	3	2	1
④	現国道10号沿線の収容が生じないこと	5	4	3	2	1
⑤	災害時に国道10号の代替路として利用できること	5	4	3	2	1

ルート帯を検討するうえで重視すべき事項

① 渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する
交通の阻害を受けないこと



② 事故の危険性が少ないこと
③ 歩行者の安全が守られ、生活道路への流入が防げること



④ 現国道10号沿線の改変が生じないこと



⑤ 災害時に国道10号の代替路として
利用できること



⑥ 県立宮崎病院に早く安静に行けること



⑦ 産業拠点間を予定した時間内に移動できること
⑧ 観光地間の移動時間が平休問わず短いこと



<道路整備による影響>

⑨ 生活環境（騒音など）への影響が小さいこと
⑫ 沿道からの利用が便利なこと

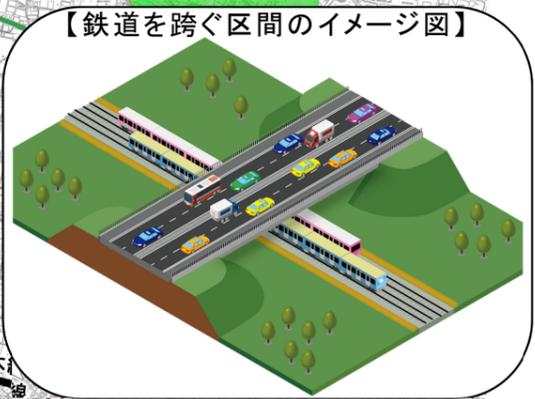
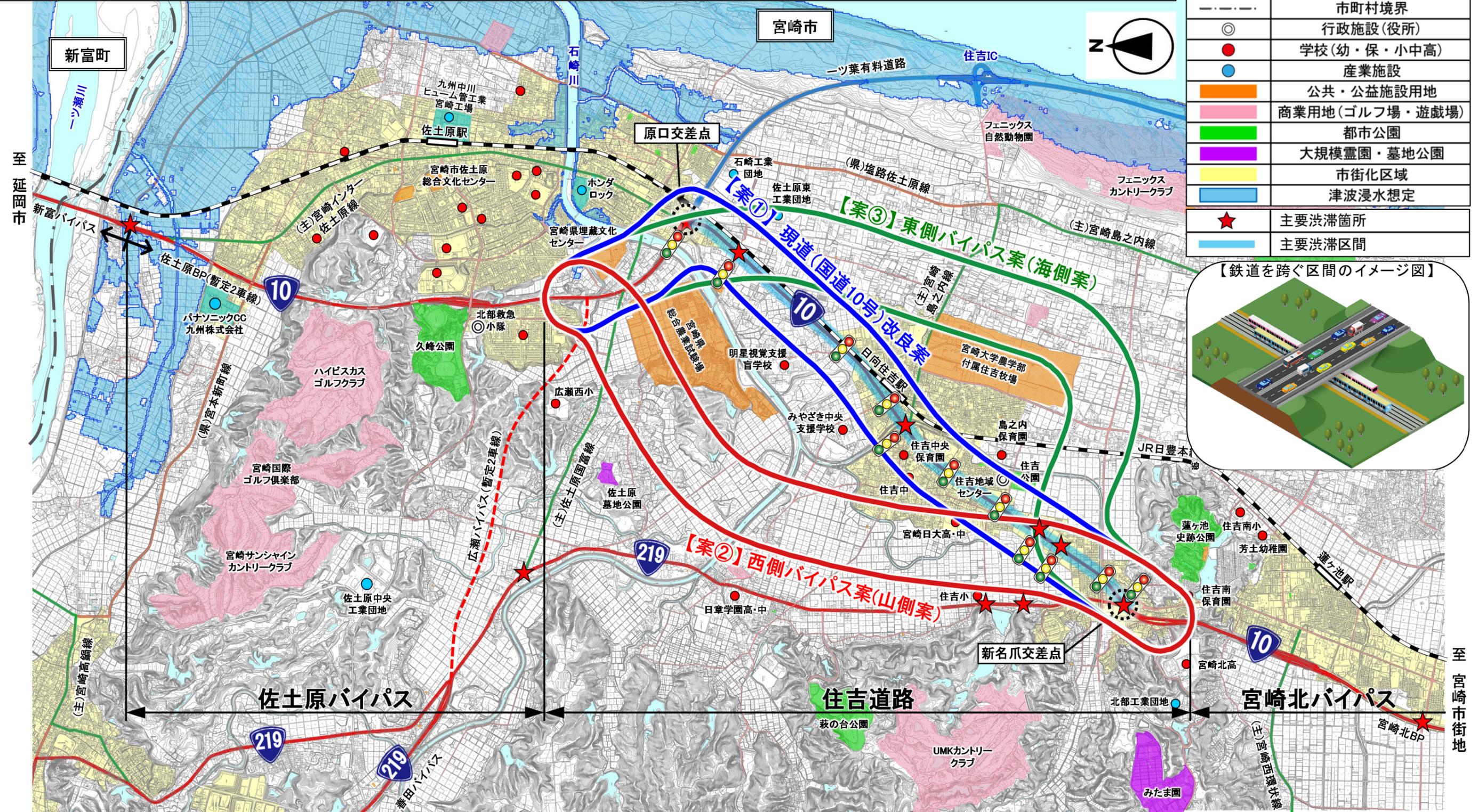
⑩ 自然環境（動植物など）への影響が小さいこと
⑬ 早期に整備効果が望めること

⑪ 家屋移転が少ないこと
⑭ 整備費用が安いこと

ルート帯案

- 【案①】現道(国道10号)改良案 : 信号交差点の箇所及び道路構造は現状と同一
- 【案②】西側バイパス案(山側案) : 信号交差点は基本的に設けず、道路構造は盛土を基本とし、河川を跨ぐ区間は橋梁を想定
- 【案③】東側バイパス案(海側案) : 信号交差点は基本的に設けず、道路構造は盛土を基本とし、河川・国道・鉄道等を跨ぐ区間は橋梁を想定

コントロールポイント 凡例	
	国 道
	主要地方道
	一般県道
	有料道路
	主な市道
	JR
	市町村境界
	行政施設(役所)
●	学校(幼・保・小中高)
●	産業施設
	公共・公益施設用地
	商業用地(ゴルフ場・遊戯場)
	都市公園
	大規模霊園・墓地公園
	市街化区域
	津波浸水想定
★	主要渋滞箇所
	主要渋滞区間



ルート帯案の比較表（政策目標等の達成状況）

評価項目		【案①】 現道(国道10号)改良案	【案②】西側バイパス案(山側案)	【案③】 東側バイパス案(海側案)
項目	評価指標	国道10号を4車線に拡幅し、交通容量の拡大を図ることで、交通混雑緩和を図る案 延長 約7km	国道10号の西側にバイパスを整備し、通過交通を分離することで、交通混雑緩和を図る案 延長 約6km	国道10号の東側にバイパスを整備し、通過交通を分離することで、交通混雑緩和を図る案 延長 約7km
		政策目標	【暮らし】交通環境の改善	① 渋滞の緩和 ・交通量に応じた車線数が確保され、現国道10号の混雑が緩和される ・一方で、通過交通の混在や沿道施設・細街路からの出入り車両による通行障害等の懸念が残る
② 交通事故の減少	・通過交通が混在し、沿線店舗への出入り車両による加減速を要因とした事故が懸念される		・通過交通はバイパスに転換するため、現国道10号の交通事故減少が見込まれる	・通過交通はバイパスに転換するため、現国道10号の交通事故減少が見込まれるものの、効果は案②よりも劣る。
③ 歩行者の安全性確保	・全線にわたり歩道が整備され、安全な歩行空間を確保できる ・現国道10号の容量が確保され、渋滞逃れの車両が生活道路に流入することが減る		・現国道10号の歩道は現況のままであり、歩行者の安全性向上には繋がらない ・現国道10号から新設バイパスに行くために生活道路を利用する車両が流入する	・現国道10号の歩道は現況のままであり、歩行者の安全性向上には繋がらない ・現国道10号から新設バイパスに行くために生活道路を利用する車両が流入する
【暮らし】沿道環境の保全	④ 既成市街地衰退の懸念および無秩序な市街化の懸念 ・現国道10号の拡幅により一部沿線商業施設等の改変が生じる		・バイパス沿線は、概ね市街化調整区域であるため、開発は抑制され、現国道10号周辺の改変は生じない。	・バイパス沿線は、概ね市街化調整区域であるため、開発は抑制され、現国道10号周辺の改変は生じない。
【防災】信頼性の高い緊急交通路の確保	⑤ 代替路の確保 ・現国道10号の交通容量拡大により信頼性が向上するが、現道利用のため代替路は確保できない		・別線整備により現国道10号の代替路が確保される	・別線整備により現国道10号の代替路が確保される ・沿岸部周辺からのアクセス性が高い
【医療】医療施設への速達性・走行性向上	⑥ 北部救急小隊から第三次医療施設への速達性・走行性向上 ・北部救急小隊から第三次医療施設(県立宮崎病院)への搬送時間短縮が図られるが、交差点が多く走行性で劣る		・北部救急小隊から第三次医療施設(県立宮崎病院)への搬送時間短縮が図られる	・北部救急小隊から第三次医療施設(県立宮崎病院)への搬送時間短縮が図られるが他案より劣る
【産業】速達性・信頼性の向上による産業の支援	⑦ 工業団地から高速ICへの速達性向上 ・北部工業団地から西都ICへの移動時間短縮が図られる		・北部工業団地から西都ICへの移動時間短縮が図られる	・北部工業団地から西都ICへの移動時間短縮が図られるが他案より劣る
【観光】速達性・信頼性の向上による観光振興の支援	⑧ 高速ICから観光地への速達性向上 ・西都ICから宮崎神宮への移動時間短縮が図られる		・西都ICから宮崎神宮への移動時間短縮が最も図られる	・西都ICから宮崎神宮への移動時間短縮が図られる
道路整備による影響	生活環境	⑨ 大気質・騒音等 ・集落・市街地を通過するため、生活環境への影響は最も大きい	・集落・市街地を概ね回避するため、生活環境への影響は小さい	・点在する集落を通過するため、生活環境への影響は大きい
	自然環境	⑩ 田畑・山地の改変 ・集落・市街地を通過するため、自然・田畑の改変は少ない	・バイパス区間は概ね田畑・山地であるため、自然環境の改変を伴う	・バイパス区間は概ね田畑・山地であるため、自然環境の改変を伴う
	家屋への影響	⑪ 移転が必要となる家屋数 ・集落・市街地を通過するため、家屋・大型店舗移転等が最も多い	・集落・市街地を概ね回避するため、家屋・店舗移転等は少ない	・点在する集落を通過するため、家屋・店舗移転等が多い
	沿道利用	⑫ 施設へのアクセス性 ・現国道10号沿道の店舗やJR日向住吉駅等に直接アクセスできる	・現国道10号沿道の店舗やJR日向住吉駅等へのアクセス性は劣る	・現国道10号沿道の店舗やJR日向住吉駅等へのアクセス性は劣る
	効果の早期発現	⑬ 発現の時期 ・段階的な開通が可能であるため、効果が最も早く現われる	・全線が供用しないと国道10号バイパスとしては機能しない	・全線が供用しないと国道10号バイパスとしては機能しない
	コスト	⑭ 整備に要する費用 約400～450億円	約380～430億円	約450～500億円

国道10号 住吉道路

道路計画に関するご意見をお聞かせください!

web回答も受付中!

詳細は裏面に



国道10号住吉道路に関する道路整備の計画検討を進めるにあたり、下記の日時・場所においてパネル展示と合わせ、スタッフが説明を行います。

最適ルート帯の検討に必要な「重視すべき事項」について、皆様のご意見をお聞かせください。

時間

平日 9:00~16:00 休日 10:00~16:00

どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお越しください。

市街地部

<会場>

宮崎市役所
本庁舎横(西側)

<開催日>

11月20日(水)

住吉地区

<会場>

マルミヤストア住吉店

<開催日>

11月22日(金)

11月23日(土)

佐土原地区

<会場>

宮崎市立佐土原図書館

<開催日>

11月21日(木)

11月24日(日)

※10月24日(木)~12月1日(日)については道の駅「高岡」、「田野」、「フェニックス」、「つの」において、アンケートブースを設置しています。
※台風等、荒天が予想される場合は延期とし、オープンハウス前日の17時までに宮崎河川国道事務所のホームページでお知らせします。また、ホームページでご確認できない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所
(協力)宮崎市

問い合わせ先 宮崎河川国道事務所 調査第二課
〒880-8523 宮崎市大工2丁目39 TEL(0985)24-8221
<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

オープンハウス会場アクセスMAP

市街地部

<会場>

宮崎市役所本庁舎横（西側）

<開催日>

11月20日 水

[住所]

宮崎市橘通西 1-1-1



住吉地区

<会場>

マルミヤストア住吉店

<開催日>

11月22日 金

11月23日 土

[住所]

宮崎市大字島之内 7025



佐土原地区

<会場>

宮崎市立佐土原図書館

<開催日>

11月21日 木

11月24日 日

[住所]

宮崎市佐土原町下田島 20527-4



**web回答
も受付中!**

**WEB アンケートも実施しています。
会場にお越し頂けない方はぜひアクセスして下さい。**

インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、
下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、

令和元年12月1日（日）までに、回答をお願いします。

A 下記URLをアドレスバーに入力 **B** QRコードからアクセス→

<https://enquete.cc/q/sumiyoshiweb>

